

2016年6月実績概要（メモ）

（2016. 7. 21）

定期修理等の系列数の増加により、エチレンをはじめ各誘導品の生産は多くが減産。

1. 生産動向

イ) エチレン 446, 200トン

前月比 ▲12.1% (▲61, 400トン)
前年同月比 ▲10.3% (▲51, 300トン)

生産増減に係る諸要因	<前月比>	<前年同月比>
日数増減	▲3.2%	—
定修要因等	▲7.0%	▲5.6%
能力増減	—	▲7.1%
稼働率変動	▲1.9%	+2.4%
生産増減率	▲12.1%	▲10.3%

稼働プラントの実質稼働率試算：前月97.1%→当月95.4%←前年同月93.4%
定修プラント：前月2社2プラント→当月2社2プラント←前年同月1社1プラント

ロ) 主な石油化学製品

前月比では、稼働日数の減少に加えて定修規模差等から LD、HD、PP、SM、塩ビ樹脂、塩ビモノマー、EO、EG、BR、ベンゼン、トルエンなどの13品目でマイナス。PS、AN、SBR、キシレンの4品目はプラスとなった。

前年比では、定修規模差や稼働率要因等から HD、PP、SM、塩ビ樹脂、塩ビモノマー、EO、EG などの9品目がマイナス。LD、PS、AN、SBR、トルエン、キシレンなどの8品目はプラスとなった。

2. 樹脂の生産・出荷状況（LD、HD、PP、PS）

イ) 生産

前月比では日数の減少と定修規模の増加から LD、HD、PP でマイナス。PS は定修規模の減少等からプラスとなった。

前年比では、定修規模差や稼働率要因から LD、PS でプラス、HD、PP はマイナスとなった。

ロ) 国内出荷

前月比では、連休があった前月に対し当月は営業日数の増加もあり LD、HD、PP、PS の4樹脂揃ってプラスとなった。

前年比では、前年が輸入品の減少影響等からポリオレフィン、PS ともに国産品の出荷が総じて高めの水準にあり、これとの比較で LD、HD、PS はマイナス、PP はほぼ前年並みとなった。

ハ) 輸出

定修が集中していることから国内向けへの出荷が中心となっている。前月比では LD、HD はプラスとなったが、PP、PS でマイナス。前年比では4樹脂揃ってマイナスとなり、特に LD、HD、PP では大幅なマイナスとなっている。

ニ) 在庫

在庫量は、LD、HD、PP、PS の4樹脂で減少した。在庫率(季節調整済)は前月に対して LD、PS は横這い、HD、PP は低下した。在庫水準としては LD、HD、PP、PS とも適正からややタイト気味となっている。

	前月対比増減量 (単位:トン)	季節調整済在庫率 (単位:ヶ月)	
		5月末	6月末
LD	▲21, 700	2.7	2.7
HD	▲13, 800	2.9	2.6
PP	▲82, 400	2.8	2.6
PS	▲5, 700	1.3	1.3

以上